

■個人からの脱却■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 399 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてはほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

399 目次

1. トピックス：40年が経ちました
2. ブログより：個人からの脱却
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：40年が経ちました

12月19日は40回目の結婚記念日です。

僕は25歳で結婚したので、65才の今年間違いなく40周年です。

ただそれだけのことなので、話は以上です。

でも、これだけは言っておきたいんですが、結婚記念日って大事な日です。

なぜなら、記念日はたくさんあるけれど、自分で決めた記念日はこの日くらいしか無いからです。

詳しくはこちら <https://nanoni.co.jp/20191214/>

.

そして、結婚って面白いことだと思います。

昔は攻略結婚とか、子供を産むためとか、明確な目的があったかもしれませんが、現代の結婚は謎だらけです。もちろん子供が欲しいとか、財産が欲しいの他にも国籍が欲しいとか、子どもを売りたいからなどひどい理由もあるようです。

宗教によっては、一夫一婦制でなく一夫多妻制もあり、どちらが正しいかも簡単ではありません。

詳しくはこちら <https://nanoni.co.jp/20171222-2/>

.

先日読んだ「やさしい猫（中島京子 著）」は、シングルマザーと不法滞在となってしまったスリランカ青年の、まさに結婚にまつわる物語でした。

結婚とは法的手続きなのか、社会的風習なのか、愛の形なのか、家族の絆なのか。

決して一つの答えに集約できない複雑だけどシンプルな生き様だと感じました。

僕たち夫婦の結婚も、成功なのか円満なのか、かなり疑問ではありますが、でも僕は満足してるし、これからも楽しみです。

要は、のろけ話ですので、この辺にしておきます。

.....

2. ブログより：個人からの脱却

12月も中旬となり、そろそろ年賀状を書きたくなくなった。

かつての僕は、より多くの方と賀状の交換をしたいと思ったが、SNSの普及とともに熱意は薄れ、今では賀状を下さる方にだけこちらからも届けるようにしている。

だが、年賀状という風習は大好きなのでやめるつもりは毛頭ない。

「誰もが今年一年を振り返り、来年の指針を高らかに宣言する」なんて、なんて素晴らしい習慣だ。

そして賀状の具体的内容よりも、仕事、家族、趣味などどんなテーマを選ぶかが、僕の関心事だ。

多くの人がこれらの中から一つを選び、毎年その変化を伝えてくれる。

たかが年に一度の小さな便りに過ぎないのに、賀状のやり取りは深い絆を感じさせる。

・

また、昨年は義弟の逝去に伴い、年賀の挨拶を差し控える喪中のお知らせとなり、賀状の意味を考えさせられた。

繰り返される年賀の挨拶が終わるとき、それは生きる営みが終わることを意味している。

現に、身内の葬儀を行う時は、必ずと言って良いほど「年賀状名簿」に沿って訃報を届ける。

つまり、先ほど触れた「賀状交換による絆」とは、「訃報を知らせる絆」でもある訳だ。

まだ僕は、「来年あたり死にそうだ」という体調には至っていないが、やがて老いたり病んだりするうちに、そんな年を迎えることになるのだろう。

そうになったら僕のことだから、「来年はそろそろ死にそうなので、誕生日を兼ねた生前葬に乞うご期待」なんて書くかも知れない。

そんなわけで、2年ぶりの年賀状に、僕は一体何を書きたいのだろうか。

このブログを書きながら、今日はこの課題について考えたい。

・

まず初めに、前回の年賀状を見直すと、そこには「コロナにも、負けずにバイクで行くからね！」と書いてある。

確かに新型コロナウイルスの感染拡大が始まったのは2020年初頭のことだから、もうじき満3年が経過しようとしている。

その間、様々な影響があったし、11月にはついに自身も感染した。

でも、延期になったオリンピックのことなどすでに昔の記憶となりつつあり、新たな喜びや悲しみが次から次へと降り注ぐ。

やはり年賀状で知らせるべきことは、僕自身にとって一番大切なことにすべきかと思う。

先ほど、多くの人が一つのテーマに沿ってその変化を伝えてくれると述べたが、まさにそれが「その人にとって一番大切なこと」として僕には伝わる。

ならば僕も、これまで繰り返し伝えてきたことこそを、一番大切に思っているはずだ。

・

そこで僕は、これまでの年賀状の下半分を振り返った。

そこには必ず「本年もどうぞよろしく願いいたします」から始まって、僕の連絡先と、活動する所属団体が列挙されている。

これを見た途端、僕はこの2年間でやってきたことを思い出した。

僕が活動する所属団体が、今月さらに2つ増えて、7つになるということだ。

そこで今年の年賀状は、このことに焦点を当てることにした。

そもそも、僕が所属する法人はこれ以外にもいくつかあるし、商店街やプロジェクトなど法人以外の活動も多数ある。

だが、活動全般を通して「法人」は重い意味を持っていることに僕は気が付いた。

それは言い替えると「個人からの脱却」を意味している。

・

そもそも僕たちは、個人のメリットとデメリットの狭間で苦しんでいる。

個人には「自由」という圧倒的なメリットがある反面「孤立」というデメリットを避けられない。

成功していれば「孤立」を「不干涉」と捉えることで「自由」をさらに高めることができるが、失敗すると「自由」が「放置」に変化して「孤立」を深めてしまうことになる。

つまり、「個人主義」とは成功を前提とした理想主義だと僕は思う。

だが、自由競争は必ず成功失敗双方を生み出し、どちらかと言えば失敗が多数を占める。

今の日本は、まさに豊かさが不幸を生み続け、それを分かち合えない孤立を深めている。

ぼくは、この流れに逆らいたい。

・

そんな思いで取り組んでいるのが「多様なコミュニティ」の創出だ。

かつて自由を勝ち取るために個人を尊重したように、これからはもっと多様な集合を作りたい。

3人の個人は3種類の個人だが、3人から生み出す集合は、3種類の2人組+1つの3人組=4種類の集合だ。

今求められている「多様性」とは、「個人」のそれではなく「集合の多様性」であることに気付いて欲しい。

コミュニティが個人より多様であることこそが、脱個人の意味だと思う。

だからこれからも、変な法人を作り続けたい。

<https://nanoni.co.jp/20221211/>

.....

3. 今週+今後の予定（下記以外はすべて空いています）

【凡例】◎：申込不要、○：申込必要、×：一般参加不可

■今週の予定

(火) 12/13 なのに（世田谷）作業日

会議○：20-22時 LR 定例営会議（zoom）

(水) 12/14 なのに（各所）作業日

手続×：10-12時 100smiles 法人登記（横浜）

(木) 12/15 なのに（北海道）旅行日

移動×：羽田⇒札幌⇒キロロ

滞在×：クラブメッド・キロロ ピーク（オープン初日）

会議×：20-21時 AR 子ども書籍 MTG（zoom）

(金) 12/16 なのに（北海道）旅行日

滞在×：クラブメッド・キロロ ピーク

(土) 12/17 なのに（北海道）旅行日

滞在×：クラブメッド・キロロ ピーク

移動×：キロロ⇒札幌⇒羽田

(日) 12/18 はずみ (横浜) 作業日

交流◎：09-17 時 はずみ PJT オープンデイ (反町)

交流◎：12-14 時 はずみ PJT 説明会 (反町)

交流○：19-22 時 八島花文化財団忘年会 (京島)

(月) 12/19 なのに (世田谷) 作業日

相談×：16-17 時 S 区 Y さん (笑恵館)

交流×：19-21 時 結婚 40 周年食事会 (成城)

■定例の予定

月曜・第 2,4 22-23 時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

火曜・第 2 18-20 時 ○LR 定例営会議 (zoom)

第 4 20-21 時 ○LR 定例営会議 (zoom)

水曜・第 4 10-12 時 ○OforW 経営運営会議 (zoom)

木曜・第 2 15-16 時 ×かなこ PJT (zoom)

17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

第 3 13-18 時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)

18-20 時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)

20-21 時 ×AR 子ども書籍 MTG (zoom)

第 4 17-19 時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

20-21 時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)

金曜・第 4 08-09 時 ○地主の学校ゼミ (zoom)

土曜・毎週 09-17 時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第 2 12-14 時 ×RYUSEN PJT (zoom)

日曜・毎週 09-17 時 ◎はずみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)

第 1 10-11 時 ×100smile 会議 (zoom)

第 4 10-14 時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

12/22 交流×：20-22 時 日楽庵・住人忘年会 (日楽庵)

12/28 交流×：18-20 時 笑恵館・住人忘年会 (笑恵館)

12/29 交流○：19-21 時 はずみ・忘年会 (反町)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅：

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

株式会社なのに（取締役・平社員）

<http://nanoni.co.jp/>

一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。

参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>